

平成26年度 第1回 製造原価戦略研究会開催のご案内
主催:名古屋工業大学竹野研究室
共催:名古屋工業大学研究協力会
産学官連携センター

[製造原価戦略研究会研究会の概要]

経営の目的は「もうけ」をあげることにあります。「もうけ」をあげる経営・マネジメントの方法としては、1)商品価値を付け加えることによって市場での取引から回収する方法、2)工場における生産活動を管理・改善・改良することによってスループットに見合った最適な生産活動を展開することによって製造原価を引き下げることがあります。しかしながら、少子高齢化に到った日本の製造業経営にとっては、これまでのような厚い若年層の旺盛な活力に依拠する消費市場を背景とした商品開発や量販量産を前提にした経営戦略を展開することは難しくなっています。

この少子高齢化のすり鉢状構造にあつて、小規模かつローカルながらもグローバルな製造事業活動を展開できる戦略はなにか?本研究会では、あらためて地元・名古屋圏地域の企業現場における、「自動化」「改善」や「自動化」設備・「改良」といった現場の活動や、そこから展開した製造方法や材料設計における「革新」事例に着目しながら、新しい戦略について模索していきます。

記

日時:2014年12月10日(水) 16時開始

場所:研究会場 名古屋工業大学 2号館11階ラウンジ

プログラム: 16:00~17:30 研究報告 および 意見交換

※18:00~19:30 交流会

※ 研究会後、参加希望の方での交流会を開催いたします。

会費は本年度より実費にて、お一人様 会員 1,500 円、非会員 2,500 円とさせていただきます。

研究報告演題 「小規模加工製造事業向けの製造原価革新戦略試案:名古屋圏企業事例から」

竹野忠弘(研究会主催者・名古屋工業大学大学院産業戦略工学専攻 准教授)

商品企画開発志向の新興国都市市場型のイノベーション論に対して、少子高齢化という日本の身の丈にあつた、地域に地盤をおいた小規模ながら高付加価値に展開できる製造事業戦略について、初回の今回は、(1)切削から鍛造への製法改良、(2)後方加工変化を見越した低組成材料加工改良、(3)さらには固定費軽減にむけた内製化と同技術原価低減による技術革新といった3つ事例を具体的に提示します。

そこから要求される高品質・高機能な加工を、最新・高額の設備投資の代わりに「ちえ」や「くふう」によって、いかに充足していったのか分析し、量販量産メーカーむけの商品イノベーションに対抗して小規模製造事業にできるイノベーション戦略について、原価管理ではなく原価革新という視点を加えて、参加の皆様と意見交換・討論しながら考えていきます。

申込み〆切: 2014年12月3日(水)18時まで。

参加希望が多数の場合、20名様までで調整をさせていただきますが、20名に達しますまでは、申し込みいただけます。参加確認のメールは、申し込みをいただいて折り返しではなく、締め切り以降の12月4日(木)以降となります。なお20名に達しましたら締め切りとさせていただきます、その時点以降に申し込みいただいた方には申し訳ございませんが、折り返し、定員に達した旨、連絡をさせていただきます。

参加申込み先: E-mail(次頁の「申込書」の記載事項を付して)または FAX で、お申込みください。

***なお、交流会参加可否についても、準備の都合上、必ず参加・欠席のご回答に、ご協力ください。**

〒466-8555 名古屋市昭和区御器所町名古屋工業大学

つくり領域産業戦略工学専攻竹野研究室

E-mail: takeno.tadahiro@nitech.ac.jp

FAX 052-735-5460

※ 名古屋工業大学への案内地図および建物配置図は、<http://www.nitech.ac.jp/access/index.html> をご覧ください。

******* FAX 送信用紙は、以下・次頁にあり! *******

*メール送付先: takeno.tadahiro@nitech.ac.jp

To 052-735-5460

申込書 (*FAXの場合は、この用紙にそのまま記入して送信してください。)

名古屋工業大学 竹野研究室宛

2014年12月10日(水)16時からの「製造原価戦略研究会」に参加します。

1)ご所属:

2)会員・非会員の別: 会 員 ・ 非会員 (該当する方を○で囲んでください。)

3)交流会参加: 参 加 ・ 欠 席 (※準備の都合上、こちらも必ずご回答ください。)

4)ご氏名:

5)メールアドレス:

6)FAX 番号: